

## 総合的な学習の時間 探究の過程における学習活動を充実させるためのポイント

よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を育成するためには、探究の過程（①課題の設定→②情報の収集→③整理・分析→④まとめ・表現）を充実させるとともに、その過程において、児童生徒や学校、地域の実態等に応じて、児童生徒が探究的な見方・考え方を働かせ、教科等の枠を超えた横断的・総合的な学習や児童生徒の興味・関心等に基づく学習を行うなど、創意工夫を生かした教育活動の充実を図ることが大切です。

**Point 1** 探究の過程を通して、探究的な見方・考え方を働かせた総合的な学習の時間固有の学習が行われるようにすることが大切です。



探究的な見方・考え方には、**A**各教科等における見方・考え方を総合的に働かせること、**B**広範な事象を多様な角度から俯瞰して捉え、課題の探究を通して自己の生き方を問い続けるという総合的な学習の時間に固有な見方・考え方を働かせることの二つの要素が含まれています。

**Point 2** 各教科等で身に付けた資質・能力が存分に活用・発揮されることで、学習活動は一層充実します。そのためには、各教科等との関連を図った上で年間指導計画を工夫し、単元計画を作成することが大切です。

**Point 3** 比較する、分類する、関連付けるなどの「考えるための技法」を習得する場面と活用する場面を、探究の過程に適切に位置付けることが大切です。児童生徒が「考えるための技法」を選択し、試す場を設定しましょう。

【中学校第1学年指導事例】 単元名：地域の川とそこに起きている環境問題

単元の目標：地域の川に関する調査活動を通して、川の環境は人々の生活や地域の特徴と深く関わっていることを理解し、持続可能な社会づくりの視点から川の環境を守るためにできることについて考えるとともに、自らの生活や行動に生かすことができるようにする。



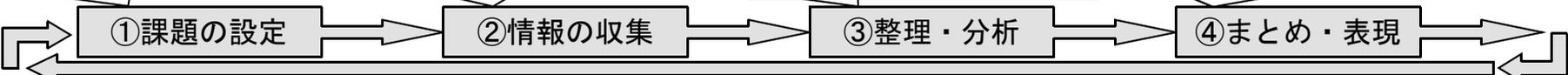
S：生徒 T：教師 見・考○ [△△] 生徒が探究的な見方・考え方を働かせている場面 △△：教科等

T：パックテストで川の汚れ具合を調べましたね。その結果を見てください。  
S1：COD（化学的酸素要求量）の数値が高いから、水質はよくないね。  
見・考**A**[理科] **Point 1**  
S2：川の環境を守るために、私たちにできることは何だろう。

S3：下水処理場の職員に話を聞きに行こう。  
S2：必要な情報は、キーワードにしてメモするといいね。  
見・考**A**[国語] **Point 1**  
**Point 2**  
T：国語で学んだ、効果的な記録の取り方を生かしていますね。

T：集めた情報を整理するとき、これまで使ったことがある分類の方法で、どれが活用できそうですか。  
S1：Xチャートを使って分類したらどうかな。  
S3：それを基に自分のできることを考えて、座標軸を使って実現可能か話し合おう。 **Point 3**

S2：生活排水が川を汚すから、食べ残しをそのまま流さないように工夫していこう。  
見・考**A**[保体、技・家] **Point 1**  
S1：生活排水以外にも、捨てられているゴミの量や上流と下流の様子も調べて、何をすべきか考えなければいけないね。  
見・考**B**[総合] **Point 1**  
T：次の課題になりそうですね。



探究の過程は、いつも①～④が順序よく繰り返されるわけではなく、順番が前後することなどもあります。児童生徒の疑問や考えなどから課題がどんどん高まり繰り返されていくように単元を構想したり支援したりしていくことが大切です。